

浮野学区ふれあい給食寿会



【浮野学区】

■世帯数：1,696 世帯

■人 □：3,606 人

■面 積：0.768 km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 毎月 1 回、浮野コミュニティセンターにて、高齢者を対象とした給食会を開催している。年間の延べ参加者数は約 630 人である。
- ・ 手作りの料理を提供し、誕生日のお祝いや、講演、音楽を楽しんでいる。
- ・ 年末には手作りのおせち料理を配布する。

【住民への PR 方法】

はじめりは市営平田住宅女性部の見守り活動から。現在は民生委員が呼びかけ申し込んでいただく。

【アピールポイント】

毎月手作りの料理を楽しみに参加してくださる高齢者の笑顔が励みになる。年末の手作りのおせち料理が自慢。

2 きっかけ、背景

当学区の高齢化率は 30.6%と、西区内で最も高い。孤独死防止のため、高齢者の見守りも含めてふれあい給食会を始めた。交通安全や防災等の話を聞く勉強会も行っている。その他、子育てサロン、高齢者対象のサロンを行うグループもある。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、女性団体・女性会、地域ボランティア 計約 15 人

(2) 他団体との協力

民生委員、区政協力委員、女性会、保健委員

(3) 運営協力

町内会ごとに担い手を募り、できる限り若い人に関わってもらえるよう努力している。



4 実施のスケジュール

S54 年 市営住宅平田荘の自治会から女性部に声をかけ、高齢者の困り事を聞きながら訪問し、食事会を開催

S58 年 10 月に規約を制定。以後、30 数年継続し、現在に至る。



5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 住民、特に高齢者とのコミュニケーションが深まり、どこでも声かけができるようになった。

(2) 苦労した点

- ・ 活動を始めた当初は、高齢者（特に一人暮らし）も少なく、何人参加があるか不安だった。
- ・ 今後、担い手をどうするか、他団体の協力を得られるかが心配。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 担い手が高齢化しており、継続するため 40～50 代の新たな担い手を希望する。
- ・ 20 年前からすると助成金が減っており、活動資金の確保が課題。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・ 毎月開催する事によって高齢者の安否確認ができる。また、民生委員や他団体の見守りボランティアの方と情報交換ができ、孤独死防止にもつながっていく。